

おかげ様で6年目



たもんじ 交流農園

2023年4月号
便り Vol.61



ほたるのすみかお披露目&感謝祭&お花見開催！

4/9(日)「ほたるのすみかプロジェクト」の完成お披露目と、応援頂いた皆様への感謝祭、更にはお花見(葉桜)を兼ねた「ほたるのすみかお披露目&感謝祭&お花見」が開催され、山本亨墨田区長をはじめ、125人を超える多くの方にご参加頂き、農園は大いに盛り上がりしました。(イベント模様や参加者コメントは2面)

新シリーズ(4 周目企画)

NEXT STAGE

～次に私がしたいこと～

第1回 富澤正佳さん あの星野農園さん で寺島なすの接ぎ木作業をやってきました!!



まず最初に本号が61号ということについて。あれからもう5年！感慨深いと同時に「たもんじ交流農園便り」を発行し続けたてらたま協議会の皆様のたゆまぬ努力に頭が下がります。一方で私自身は農園部の末席で、ほとんど役たたずの5年を過ごしてきましたが(まあ本人はこれが長続きのコツかなと思っている節もありますが)昨夏の農園部の大活躍に感化され、今年は心機一転、種から育苗にトライすることにいたしました。

ところがあゝ育苗はなんと難しいことか!! 育ちが悪く(私は1cm 他の方は5~6cm)使えるのかどうか心配しながら、3/19(日)、農園部の7名で三鷹の星野農園さんを訪ねました。結局 10cm 程度に育った苗を分け



星野さん

ていただきました。300本程度を星野さんの指導の下、接ぎ木作業してまいりましたが、星野さんの60年の蓄積と豊かな人間性にただただ感動するばかりで、豊かで楽しい学びの時間となりました。

というわけで私の『NEXT STAGE』は、1.踏込温床をたもんじ交流農園につくり、来年の接ぎ木作業は自前の苗で、2.菌ちゃん農法にトライ、3.より広い農地での実践を目指した情報収集と行動、です。通える範囲での農地情報などお持ちの方は是非教えてください！今年度も皆様宜しく願いいたします。



今年もやります！寺島なす苗販売 接ぎ木した苗木を4/30(日) 東向島駅前にて販売します(詳しくはHPに)

ほたるのすみかお披露目&感謝祭&お花見に参加して

前日のぐずついた天気がウソのような晴天の下、午前 11 時、先ず山本亨墨田区長のご挨拶を頂いた後、「区長チームVSてらたまチーム たもんじミニ青果リレー」を実施。牛久理事長による水循環システムの説明後、森山墨田区観光局理事長のご発声で乾杯。久々のピザ窯と焼き芋・焼きそばのフル回転により参加者はお腹と笑顔がいっぱいに。その後「ほたるのすみか完成までの動画」(18 分)とマジックショー(いずれも小川さん作)により会場は大いに盛り上がり、墨田区瀧澤区議会議員ご挨拶、全員集合写真で幕を閉じた。



ホタルの乱舞を撮影したい 丸喜翔太さん (昨年の寺島★なす祭りで青果リレーの写真を撮って頂いた)

初めて来させて頂いたのですが、畑もあるし、ビオトープもあるし、いろんなものあって、どんな野菜を育てているのかすごく興味があります。今日のイベントはキッズたちからおじいちゃんおばあちゃんまで、すごくいろんな方がいらっちゃって、しかもみなさん和気あいあいと楽しそうにっていて、すごくよいイベントだなって思います。

都内でホタルを見れるとは思っていなかったんで、今回ビオトープを作られて、夏にみなさんでホタルを見ようというのは、すごくワクワクしますよね。実は夜の撮影は得意分野で、長時間露光した写真を数枚撮影して合成すると、ホタルが乱舞しているような写真が作成できるので、この夏やってみたいと思っています。



農園の発展を実感 林美都さん (高 1 青果リレーのてらたまチーム第三走者)



一年ぶりに来たのですが、池もそうですけど、新しいものができていたり、ぶどう棚もキレイになっていたりして、発展してるなと思いました。小学校にビオトープがあって学習もしたんですが、実際近くで見ると、メダカとかエビとか自然の姿を実感できて、ホタルもそうですし、きれいな池で育てて大きくなって欲しいなと思いました。

あと、子どもが増えたとめっちゃ思って、遊ぶ場所を イスばかりじゃなくて、なにか作ったら子ども同士の交流も深まるかなと。たとえば ブランコは無理かなあ ハンモックとか そうというのが自然を活用してできたら もつと楽しくなるかもしれません。

もうメチャクチャ楽しいです 森永逸二郎さん (中小企業診断士)

コロナ以来、私ずーっと家とか事務所で仕事することが多くて、外に出ることがなかなかなかったので、こんなに気持ちがいい場所で、ビールを飲んだり、焼きそば食べたり、ピザ食べたりして、もうメチャクチャ楽しいです。ホント作って頂いている方に申し訳ないです。有難うございます。でも、みなさん楽しそうにトッピングしたり、焼いたりしていらしゃるので、こちらも楽しくなっています。

私はこの会をメールと口コミで知ったのですが、まだ関係者で知らない人もいると思うので、その人たちにも申し訳なく、もっと広く宣伝してもよかったのかもしれない。



「ホタルが飛びまち、すみだ」を目指して 田村美穂子さん (ホタルプロジェクトの言い出しっぺ)



もともとホタルを墨田区で放したい、それも自然発生ができるようになればいいなあって思っていて、たもんじ交流農園便りの「今ハマってます」に「これからハマろうと思います」って書いたんです。その時は、一人でハマろうと思ってたんですが、蓋を開けてみれば、百花園の佐原さんとか、やりたい人が次から次と現れて、ただひたすら驚いています。

そして次の段階を考えています。先ずはこの池のふちに、苔を生やしたい。あと水の中に生える蒲(ガマ)を植えたい。その次の段階は、他にもそんな農園を増やしたい。そしてそこにもホタルが自然発生し飛び交うようにしたい。そして更に最終的には、そういう「ホタルが飛びまち、すみだ」を作りたい。内緒なんですけど。

寺島・玉ノ井地区の歴史に興味 福地信哉さん（中小企業診断士）



こういう交流イベントは地元では少ないので、農園を起点として集まるというのは素晴らしいと思います。大人は知らない人同士でも、子どもは遊び場として、すぐ打ち解けているのがいいですね。自然に触れる場、生き物と触れる場というのは子どもたちにとって非常に貴重な場になっていると思います。

墨田区は江戸時代から相撲の中心であったりして、文化面で非常に重要な場所かなと思います。その中で寺島・玉ノ井地区というところが、どういう地域だったのかを今後の地域の在り方という観点で、大いに勉強したいなと思いました。

今後の発展に期待 石床（いしとこ）めぐみさん（墨田区 地域力支援部 地域活動推進課 まなび担当 主査）

すみだの夢応援成事業を担当しており、資金集めの仕組みを提供させて頂いているのですが、今日のイベントは、小さいお子さんからご年配の方まで、いろんな方が集っていて、将に、すみだの夢応援成事業に応募頂いた時、こういうことをしたいと牛久さん小川さんからお聞きしていた夢を実現していることを、非常に強く実感させて頂いております。

ビオトープについても、初めのころはどういうふうやっていくのか心配な気持ちもありましたが、実際にやっていかれる中で、知り合いの知り合いからこういうものをもらったから、こういうことができるようになったとか、墨田区が大事にする人と人との繋がりを広げていかれた結果、こんな立派なものができる、とても素晴らしいなと思いました。

すみだの夢応援事業を提供させて頂いている立場としては、すごく大変な部分があると思いますが、その仕組みを上手に活用して頂きながら、これからもますます発展していられることを、楽しみにしております。



水循環システムは完璧!! 谷田辺陽介さん（墨田区 企画経営室 広報広聴担当 報道・シティプロモーション担当 主査）



地域の皆さんの活動をどう魅力的に発信できるか、をメインの仕事にしており、ホテルプロジェクトや、このイベントをどれだけ多くの人に知ってもらおうかというところで、一緒に頑張らせて頂きました。完成した水循環システムは、想像以上です。先ず形が美しい。井戸水というところも、何よりも自然エネルギーというところが美しく、完璧ですね。

今日のこのイベントもすごく楽しかったですし、こういったことがきっかけに、地域のいろんな世代の人たちが集まって、将に名前の通り人が交流してくることが、本当にいいなあとと思っています。手作りというか、参加しているみんなで楽しもうとしているところが、すごいですね。てらたま協議会は、僕にとってはモデルみたいなもので、継続して欲しいですし、いろんな人に見に来てもらって、墨田区全体に広がっていったければと思います。

いつもの街で特別な一日を！ 墨田児童会館 大石



いつも墨田児童会館の活動にご理解ご協力頂きありがとうございます。3/17(金)にたもんじ交流農園にて小学生のデイキャンプをやらせていただきました。小学1～6年生 22名が参加し、火起こし体験とカレー作りを行いました。火を間近に見たことのない低学年は「熱い!」「怖い!」と言いながらも果敢に火と向き合っていました。一方カレー作りを担った高学年は、カレーよりもご厚意で準備してくださった焼き芋に夢中でした。

児童館の小学生事業では、野外活動体験を通じて子どもの社会性を育む機会を「キャンプ」という形で実践しています。令和4年度は、群馬県桐生市の青少年野外活動センターにて小学校高学年を対象に1泊2日のキャンプに行ってきましたが、久しぶりのキャンプを通して「非日常体験」が子どもたちの情操にどれだけ影響を与えるかを、私たち職員はまざまざと見せつけられ改めて「野外活動体験」「自然体験活動」の魅力を認識しました。

たもんじ交流農園には児童館の食育活動でお世話になっており、今年度は寺島なす苗の栽培体験と配布会を農園で、農園のみなさんにご指南いただき実施することができたのですが、たもんじ交流農園は、農地のない墨田区で子ども達が土に触れる体験ができる唯一の場所ではないかと思います。コロナ禍で野外での飲食ができなかったこの3年間でしたが、様々な制限が解除され再び日常が戻ってくることを見込んで、たもんじ交流農園の皆さま、寺島・玉ノ井まちづくり協議会の皆さまにご相談させていただき今回の実施に至りました。



「土に触れる体験」「野外活動体験」「自然体験活動」を、子どもたちがいつも遊んでいるいつもの地域で出来ることは、とても貴重で恵まれています。多聞寺住職さんをはじめ、関係機関の皆さまのご尽力に大変感謝すると共に、これからも一緒に子どもたちの「体験機会」を支える仲間であり続けたいと願っております。



2022 夏の「寺島なす★祭り」に参加して頂いたお店のご紹介シリーズ！

東京地産地消居酒屋

第7回 押上よしかつ

墨田区業平5丁目10-2

03-3829-6468

【レポーター自己紹介】農園の開拓から一緒に携わらせていただいております高尾一枝です。農園が地域のご高齢の方や障害をお持ちの方々が活躍出来る場になれたらと言う思いで活動に携わらせて貰っています😊



【お店の行き方】押上駅から徒歩で5分ほど、西十間橋交差点ひとつ先の路地を右に、もんじゃの旗が見えます。

【お店の雰囲気】お店の間口はこじんまりとしているのですが、中に入ると別世界！灯の使い方やテーブル配置など、おとな雰囲気で落ち着いた空間です



佐藤さん 高尾さん

【寺島なすのメニュー】なすを使う料理の中で、寺島なすの特徴を活かせる調理法のメニューに使っているそうです。例えば、「なすのステーキ」「揚げなす」「ひすい焼」など、栗の様な香りで存在感のある皮を活かして、高温の油でパリパリ感を出すなど。東京産の食材全般の特徴を熟知しているからこそ佐藤さん（江戸東京野菜コンシェルジュ）のお知恵を惜しげもなく伝授してくださいました。寺島なすを10年以上扱っているとの事です。

【今の季節のイチオシメニュー】そんな佐藤さんのお料理なので、どれもが美味しそうで悩みました。その中で「よしかつ店長おまかせプレート」は東京産の野菜と魚が食べられ、自家製の豆腐料理、野菜の盛り合わせ、締めになすを使った「赤のもんじゃ」をいただきました。食材の特徴を知った上で料理に使うって大切なんですね。余談ですが、平田さんから新島のくさやの話題が出たら「有りますよ」って（笑）生まれて初めての経験でした。

【総評】お付き合い頂いた平田さんとの間では秘密基地認定！東京の食材から歴史の事などいろいろお話しも聞けて、もちろんナシュラン満点「🍆🍆🍆」です！！



HomePage



よしかつ店長おまかせプレート



くさや



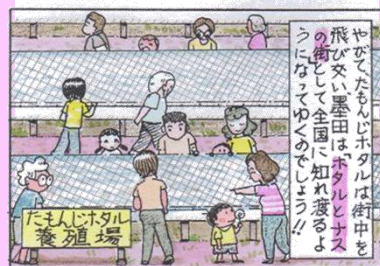
赤のもんじゃ



純米吟醸 春の雪 (小澤酒造/東京都)



Facebook



“てらたま農園部から”

第17回～駅前プランターの花々～



去年の秋、寺島なすが終わった頃、冬の間駅前プランターに何のお花が良いかを農園部の花チームで話し合い、墨田区の「まちなか推進事業」にも協力して頂いて、お花を育てています。

「きれいね～、お花を見ているとほっとするわ」とご近所のおばあさん。よちよち歩いて、お花を見てニッコリする保育園児。「癒される～」と言って下さる人も。駅前プランターは、寒い冬場は此处だけ明るく 春。年が明け桃の節句が終わった頃、そろそろ寺島なす用の土作りの時期だけど、プランターのお花をもう少し楽しんで頂きたいとの思いから、ペットボトルに植え替え作業をしました。駅前プランターの花は、もう少しの間、地域の人達の心を楽ませる存在です。



水口アドバイザーご指導日: 5/7(日) 6/11(日) 10:00～15:00

農園部作業日: 毎週日曜 9:00～



たもんじ交流農園便り
No.61 般 2023.4.18 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之



HomePage

てらたま協議会
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)
セブン-イレブン記念財団 (2018年2020年に助成金を頂きました)



Facebook